

各位

病虫害防除所長

平成25年度病虫害発生予察技術情報資料（第7号）の送付について

普通期稲におけるトビイロウンカの飛来状況について

8月23日現在、下記のとおり九州地方のほとんどの県でトビイロウンカに関する注意報もしくは警報が発表されています。また県内の予察灯でも飛来が確認されており、つきましては、県内の水稲（普通期稲）栽培地域においては、今後のトビイロウンカの発生動向に十分注意するとともに、防除指導の徹底をお願いします。

記

8月23日現在、トビイロウンカの注意報が発表されている県は、発表順に福岡県、宮崎県、熊本県、鹿児島県、千葉県、広島県、山口県、宮崎県（警報）、長崎県、佐賀県となっています。JPP-NETの「ウンカ飛来予測」情報によると本年度の飛来は5月下旬の第1波からはじまり、8月上旬の第5波までの予測が出されており、県内の予察灯では県中央部で7/4～7/12（第3波予測）、西部で8/9,8/12（第5波予測）、に飛来が確認されています。この7月中旬の第3波飛来虫の第2世代幼虫の防除適期は8月下旬頃、また8月中旬の第5波飛来虫の第1世代幼虫の防除適期も8月下旬頃と予想されます。

現在、普通期稲の生育ステージは出穂期前後が多く、また今後の天候予報では本虫の増殖に好適な条件が見込まれています。本虫が高密度となると9月上旬頃に坪枯れ被害を生じる可能性があるため、ほ場での発生には十分注意してください。

なお防除にあたっては、農薬安全使用の遵守及び周辺の食用農作物への飛散防止対策についてご指導をよろしくをお願いします。